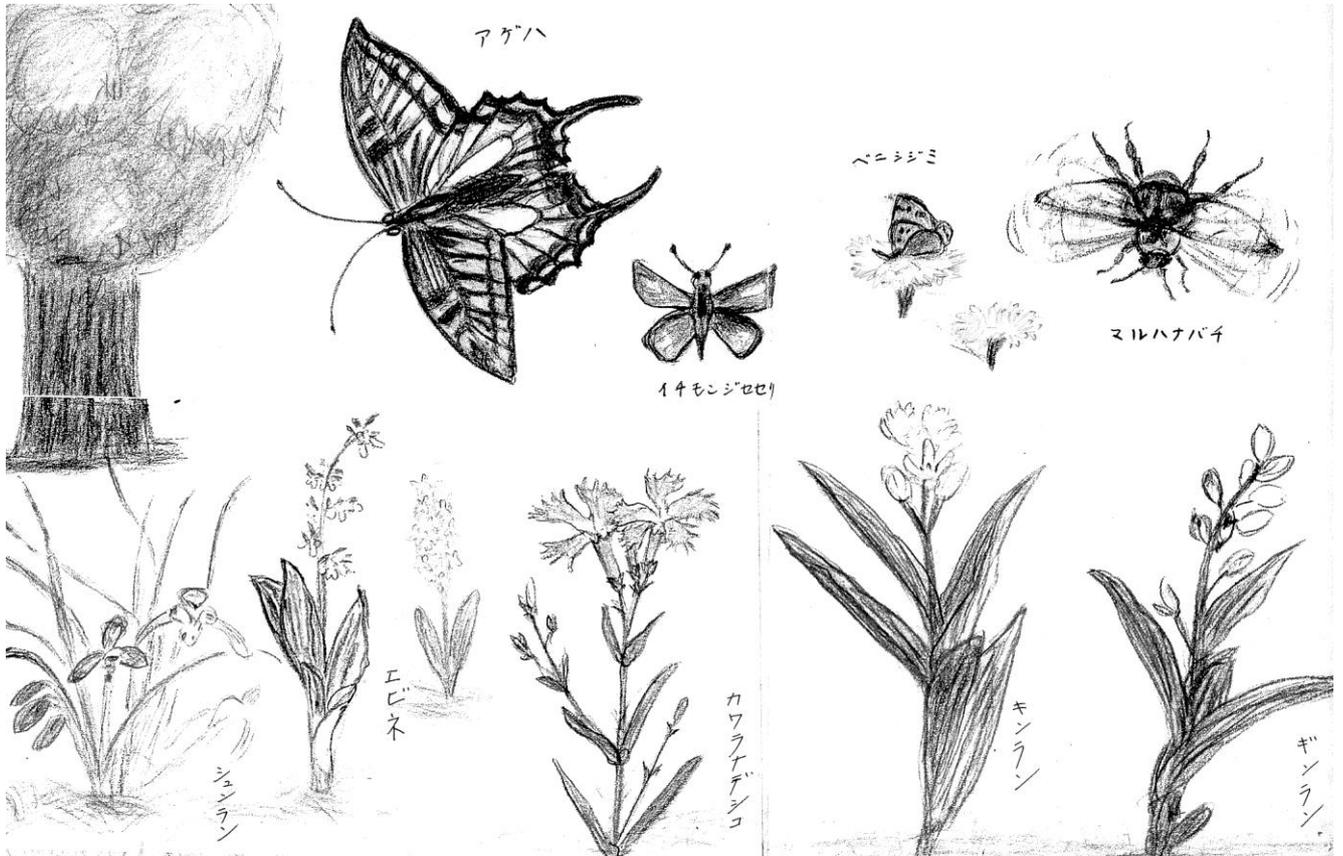




ゴロスケ報々



●トンボ池を掘ろう●

友の会行事のお知らせ

トンボ池では園内で見られるトンボ達やヤマアカガエルが産卵し、繁殖に欠かせない場所となっていますが、土砂の流入で埋もれてしまう危険に晒されています。

会員の方で池の泥上げ、除草を行い、大切な繁殖場所を保全しましょう。

1. 対象 : 会員(中学生以上限定) 事前申し込み不要
2. 実施日時 : 平成28年5月8日(日)9時10分～
3. 集合場所 : センター前
4. 持ち物 : 汚れて良い服装、帽子・飲み物・軍手・可能なら長靴

担当: カワセミファンクラブ

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●3月定例会報告●

<p>日時 2016. 3. 20 (日) 13:00~15:00</p> <p>出席者 山口、村松(議長)、大浦、片岡、青木、関根(書記)、吉田、落合、中里渡部、鈴木、高柳、八田、古南R、掛下R</p> <p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 友の会の行事報告、プロジェクト報告をしました。年間計画通りの行事を実施しました。 2. 友の会の行事予定を確認しました。 3. ごろすけ館の利用予定を確認しました。 4. 事務局より <ul style="list-style-type: none"> ・4月3日に開催される「友の会総会」の資料の確認を行いました。 ・次年度の「森を守るボランティア体験」、ゴロ報「ふむふむ」「定例行事の報告」の担当を確認しました。 ・友の会チラシの配布施設と担当者を決めました。 ・各プロジェクトの活動写真を、中里までお送りください。 5. センターより <ul style="list-style-type: none"> ・センター主催行事へのお手伝い、ありがとうございました。 ・業者による環境管理、補修工事の報告。長倉口のトイレは3月下旬から使用を開始しています。 ・次年度の行事予定と担当レンジャーの報告。 ・30周年事業についての企画概要の報告。 <p>その他、センターだよりのページをご覧ください。</p>	<p>次回の定例会は 5月15日(日)13時から センター研修室で 定例会は会員どなたでも 参加できます。</p>
---	---

●3月理事会報告●

<p>日時 2016年3月20日(日) 9:40~12:00</p> <p>出席者 青木、漆原、大浦、落合、片岡、志益、関根、中里、村松、山口(議長)、吉田、古南R (欠席:秋元、中塚)</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 定期総会準備 <ul style="list-style-type: none"> ・ZFC 杵理事選出中につき臨時で5月まで吉田理事が着任することが承認されました。 ・議案書(決算・予算・役員案)、チェーンソー対応保険の重複回避提案に対して従来どおりボランティア保険とは別途に安全対策費とすること、友の会30周年引当金を計上することを確認しました。(事業報告・計画の詳細はプロジェクトマネージャーが揃う定例会で確認) ・進行(役割)、準備日程(監査・印刷)等を確認しました。 2 安全管理について <ul style="list-style-type: none"> ・次年度講習会(熱中症対策)は会長・担当理事で別途調整することを確認。 ・事故等報告:なし。 ・事故発生時は各PM配布の保険連絡先への本人手続きのほか、メーリングリストで報告し事故情報を共有することを確認しました。 3 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・次年度センター事業、30周年事業、ZFC「たたら製鉄(検討中)」について説明がありました。 	<p>＜次回理事会開催のお知らせ＞</p> <p>日時 5月15日(日)9:30~12:00</p> <p>場所 自然観察センター研修室</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 理事役割分担 2 利用推進会議について 3 安全管理について 4 その他
--	--

●第28回定期総会の報告●

日時 2016年4月3日(日) 10:00~11:00
 場所 自然観察センター研修室 出席者会員15名+レンジャー2名
 議案 2015年度事業報告、決算・監査報告、2016年度事業計画、予算、理事・監事選任

定期総会が開催され、議長に今村修さんを選出、議案はいずれも原案どおり承認されました。2016年度は新中期計画(2016-19 ごろすけ館活用や30周年関連の情報発信と保全管理計画を活かす活動)の実施にご協力のほどよろしくお願い致します。

<2015年度報告> (人数は参加延べ人数。 ※・・・アライグマ捕獲罟巡回活動含む)

友の会行事 26 項目・170 回 (会員750 人、一般1,188 人)

センター行事支援※ 4 項目・71 回 (会員183 人、一般 578 人)

ネットワーク活動 4 項目・7 回 (77 人)

会議等 5 項目・19 回 (180 人)

行事報告 合計 39 項目・267 回 (会員1,190 人、一般1,766 人)

PJ活動 36 項目・493 回 (3,065 人)

事務局内調査等活動 4 項目・16 回 (101 人)

事務局事務 4 項目・42 回 (104 人)

PJ活動報告 合計 44 項目・551 回 (3,270 人)

<2016 年度計画>

行事計画 39 項目・283 回 ※ (内、友の会行事(主催・共催) 177回)

PJ活動計画 48 項目・707 回

<理事・監事選任>

PJ 枠 : 秋元・大浦・落合・志釜・中里・中塚・村松・吉田

事務局枠 : 青木・漆原・片岡・関根

会員公募枠 : 山口

監事 : 水上・兼武

<センターより>

レンジャー異動・挨拶、開園30周年記念事業説明がありました。

定例行事の報告

●定例行事の報告「畑プロジェクト」●

3月19日(土)に今年度最後の「畑と作物を作ろう」を行う予定でしたが、朝からの雨で活動は中止でした。メンバーはひよっとすると止むかなと思ひ、ゴロスケ館に詰めていましたところ、グレーの子ウサギ2匹が姿を見せてくれました。かわいい!!まさに絵本の世界でした。雨の自然観察の森で、得難い時間を持ちました。

さて、15年度に「畑と作物を作ろう」に参加して下さった方は、延べ30名でした。作業にも積極的に参加いただき、有難うございました。今年度も不耕起栽培と自然農法を目指して「畑と作物を作ろう」を行います。小さな労働力、大歓迎です。会員の方も是非ご参加ください。

●森を守るボランティア体験 報告●

2月21日 「冬の野鳥を観察・記録しよう」

冬空ではありませんでしたが、風も穏やかな日に、お子さん連れ、ご夫婦を含め7人の一般参加者を迎えて実施できました。出てくれるか心配していた冬鳥も、ツグミ、ノスリなどそこそこ観察でき、参加者も記録用紙に記載していました。体験終了後にゴロ報発送作業に参加される方もおり、ボランティア活動の主旨を早速体現して頂きました。

担当 : カワセミファンクラブ

●はじめてのバードウォッチング 報告●

「はじめてのバードウォッチング」 2月28日(日)

申し込みは25名あったのですが、当日4名が欠席、21名の参加となりました。中学校の科学部の生徒さんが7名、先生が2名参加してくれ、参加者の平均年齢は、ぐっと低くなりました。

まず室内で鳥に関する簡単なレクチャーを45分ほど。フィールドマナーの説明ののち、いよいよ野外へ出ました。みなさん熱心に双眼鏡をのぞき、初めて見る鳥に感激の声があがっていました。

12時30分に研修室に戻り昼食。その後鳥合わせをおこない、予定通り14時に解散しました。

これをきっかけに「みんなでバードウォッチング」に参加し常連さんになってくれると嬉しいですね。

●はじめての ちいさなしぜんかんさつ会 報告●

3月20日、まずは、モンキチョウの広場から斜面を下りながら動物の痕跡(ヒヨドリや、ノウサギ、タイワンリスの食痕)を探しました。その後、抜け殻が2つついている「セミ・ツリー」(7才命名)やツクシを見ながら、ハイケボタルの湿地に向かいました。まずは自力でオタマジャクシをつかまえたり、手に乗せてもらったり。初めてオタマジャクシを手に乗せてみた子たち、なぜか「ふふふ・・・」と笑っちゃうみたいです。何を感じたのかなー。モンキチョウの広場にもどって、最後に、今日見たものの絵を描きました。午後は遅刻者が少なく、時間がゆっくりとれたので、ヒミツの場所で絵の野外展示もできました。その場所は、スタッフでも知らない人が多かったのですが、子供たちが隠れてよく遊んでいる場所で、そこに入ると別世界が広がり、素敵な雰囲気の良い展示会になりました。

実は今回、3才の子たち2人が、斜面や湿地で転んでしまいました。2人とも手を握ったままでした(怪我はありませんでしたが、湿地に落ちた子は、センターでシャワーを使わせていただきました)。握っていたのは、一緒に見た、リスがかじった、オレンジ色をしたタブノキの樹皮のかけらや、貝でした。それから、みんなが出発しても、「帰らない」と湿地から離れない子、観察会の終わった後にまた湿地に行った親子、明日また来ますと言って帰った親子もいました。オタマジャクシのファンになっちゃう子や、一緒に見たものを大事にしてくれた子たちがいて、よかったな。

行事の写真を何枚か、友の会ブログに載せました。前日までの天気予報を裏切った朝方の雨と、事故渋滞による遅刻者の多さから、急遽予定をいくつか変更しての実施となりましたが、スタッフの皆さん、ありがとうございました。また、写真撮影やシャワーの手配など、黒川レンジャー、ありがとうございました。参加者は午前18人(スタッフ4人)、午後16人(スタッフ5人)、申し込みは117人(!)でした。

担当[ふじた・かおる]

●人為的インパクト調査 報告●

日本中の1000カ所で、自然や生き物の変化を100年間見続けよう、という環境省の調査「モニタリングサイト1000」の1つで、里地の環境に対する、人による影響を記録する「人為的インパクト」は、5年に1回、植生を調べて植生図を作成します。ゴロ報で募集し、また、野草の調査と保護PJに声をかけさせていただいて、結局、12-3月の4日間に、計7人(のべ24人)で現地調査を実施しました。2012年に保全管理計画で作られた植生図を元に、2010-2011年に人為的インパクト調査で作った植生図を見比べて、大きく違うところを重点的に確認して歩きました。これからは、結果を電子化していく予定です。電子版の植生図ができれば、例えば「園内の落葉樹林と常緑樹林の面積の割合」とか「竹林の面積の変化」とか「希少種▲▲がよく出現する場所の周囲50m以内にはどんな植生が多いか」というようなことが、簡単に解析できるようになります(はずです)。できあがりましたらお知らせしますので、しばしお待ちください。

[ふじた・かおる]

アミノ酸、ハチドリ、松阪牛

私は現役時、世界一のアミノ酸メーカーに勤務しておりました。今回は生き物を考える際に、体を形成しているタンパク質の構成要素であるアミノ酸に着目するのも面白いですよ、というお話です。

例えば、水だけで我々は何日生きられるでしょうか。普通は約一ヶ月。条件が良ければ70日以上でしょうか。皮下脂肪が潤沢な方ならカロリー収支上は100日は生きられますが、たいていはそれ以下の日数で死んでしまいます。脂肪がまだ体内に残っているのに死ぬのはアミノ酸不足が一因との説があります。

体の細胞は、機能低下をきたしたり、寿命を迎えると自ら死にます。(アポトーシス作用と言います) 死んだ細胞は分解されそのアミノ酸等が小胞を形成し、新たに形成される細胞でそれらは再利用されます。しかし100%再利用されるのではなく、一部は尿で排出されてしまいます。従って、新たに形成する細胞の必要量から不足するアミノ酸は食物から供給しなければならず、供給が無ければ新たな細胞を形成できず、いずれ私たちは生命を維持できなくなるのです。私達の体は一年前の自分ではありません。毎日アポトーシスで多くの細胞が死に、新たな細胞が新たな材料(食料からのアミノ酸など)で形成され、一見同じ自分として続いているのです。

さて、チョウやセミの成虫はアミノ酸に乏しい花蜜や樹液を飲んでいますが。彼らは変態後に休眠する種を除けば極めて短命で、かわいそう、と感じる方も多いと思います。しかし、アミノ酸の供給が無ければ長寿を実現できないのは道理でしょう。

そこで質問です。ハチドリとは体重僅か5~6gの種が多い、主食が花蜜である事で有名なアメリカ大陸産の小鳥ですが、寿命は驚異の17年という記録があります。短命なチョウと同様に、アミノ酸に乏しい花蜜食と言われているにも関わらず、何故長命なのでしょう？

答えは簡単です。ハチドリがホバリングしながら長い嘴で花蜜を吸うテレビ映像に惑わされないで下さい。彼らは花蜜を吸いますが、同時に花蜜に寄ってくる昆虫類、クモなどもかなりの量を食べているのです！もう一度言います。タンパク質つまりアミノ酸の摂取は生命維持に必須なものです。

ではもう一つ問題です。低タンパク質である事が明白な植物を主食にしている草食動物はどのようにタンパク質を得て、体を形成、維持しているのでしょうか？

大量に食べる！というのも一部の種では正解です。その他、体外や体内のバクテリアを利用してタンパク合成をしている種など、正解は何通りかあります。(木の実には一部高タンパクの物もあります。)しかし、考えてみて下さい。植物体にはそもそもタンパク質構成要素のアミノ酸に必須な元素である窒素が乏しく、草食動物は自ら体内でタンパク質を合成したくとも、その材料(窒素)に常時窮しているのです。それでは、牛など反芻動物はこの原料(窒素)不足をどう解決しているのでしょうか。

タンパク質が体内で代謝された老廃物は尿素です。尿素には窒素が含まれています。窒素の少ない植物を食べている反芻動物にとって窒素は貴重です。そこで本来は尿として体外に排泄されるべき尿素の一部を、“もったいない”とばかりに唾液や反芻胃にリサイクルする！と言うのが反芻動物の出した結論です。反芻胃の中でバクテリアにリサイクル尿素を窒素源にアミノ酸、タンパク質を合成させ、バクテリアごと消化吸収して体を作っているのです。

つまり我々人間は、牛の体内でリサイクルされた彼らの尿を原料に形成された牛肉を、「うまい！さすが松阪牛だ！！」と舌鼓を打って食べているのです。

●絵本の完成のお知らせ●

新しい絵本を展示しました。

新しい絵本は「月夜のおまつり」といいます。

この絵本は夏の夜に咲くカラスウリの花を見たくなりナイトウォークを実施し、そして、たくさんのいきものに出会い感動したことや夜の森もいきものたちでにぎわっていることを伝えたいというおもいから作られました。

ぜひ、手に取ってご覧ください。

森の絵本づくりの会 しかま

友の会行事のお知らせ

●カワセミファンクラブ定例写真展●

一年をかけてカワセミファンクラブ員がこの森を中心に撮り溜めた、野鳥やチョウ・トンボの写真を一般の来園者に展示、公開します。

この写真展が来場した方々に、この森の自然の多様性、豊かさを感じて頂き、生き物へ眼を向けて頂く切っ掛けになるなら幸いです。

1. 開催期間： 4月3日(日)～6月5日(日)
2. 開催場所： ごろすけ館
3. 主催： カワセミファンクラブ

●定点カメラで動物調査●

観察の森の中の散策路から一歩森の中に入ると、そこは動物たちの世界です。森の中に設置したカメラには、そんな動物たちの世界が写っています。動物が横切ると自動的にシャッターが下りる仕組みなので、飾らない素顔が写ります。タヌキがあんな姿をしたり、ウサギがこんな姿をしたり・・・そんな動物たちの姿を記録し、変化を調べる調査を行っています。動物の見分けがつかなくても、1回だけの参加もOKです。

活動は5月～11月の毎月第2土曜日の9時半～12時。5/14(土)はカメラの設置、6/11(土)はカメラの回収、写真チェックを行います(カメラの設置、回収は友の会会員対象)。雨天の場合には日程を変更する可能性がありますので、当日自然観察センターにご確認ください。汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参。着替えもできます。

●森の作業体験(炭焼き)●

炭焼き体験会の案内

皆さん、炭焼きを体験しましょう。またコースター作りにも挑戦してみてください。

- 1 日時：2016年5月21日(土曜) 9時~14時
- 2 集合場所：横浜自然観察の森 炭小屋
- 3 小学生以上のどなたでも参加できます。
- 4 持ち物、服装：汚れてもよい長ズボンと長袖シャツ、スニーカー、軍手
- 5 雨天時の対応：炭焼きは雨でも実施します。参加・不参加は応募者が判断ください。
- 6 応募方法：メールで応募ください。メール：kansatsunomori@gmail.com
- 7 その他：昼食は持参ください。味噌汁は提供します。

●「熱中症」に関する安全管理講習を実施します●

友の会では、野外で過ごす私たちが事故なく活動できるように「安全管理講習」を行っており、これまでスズメバチ、マダニ、救急救命などを取り上げてきました。

今年度のテーマは、時には生命にもかかわる重大な症状「熱中症」です。

そろそろ気温も上がってきました。ボランティア活動の時だけでなく日頃の生活においても注意が必要です。

講師は、熱中症予防の研究者で多くの実践経験も積まれているこの分野の第一人者です。

専門家による確かな知識を身につけ、しっかりした備えと心がけでこの夏を安全に乗り切ってください。

日時：2016年6月26日(日) 10時~12時

場所：横浜自然観察の森・自然観察センター研修室

講習題目：野外活動時における熱中症の予防

講師：横浜国立大学 教育人間科学部 教授 田中英登さん

定員：友の会会員30名程度

参加申込：下記の行事受付用アドレスへ、氏名に所属プロジェクトも添えて。

kansatsunomori@gmail.com

担当：中塚(安全管理担当理事)

Y OKHAMA N ATURE S ANCTUARY NEWS 4

横浜自然観察の森・自然観察センターだより

2016年 4月号

★2016年度の担当レンジャーです。どうぞよろしくお願ひします★

チーフ・
全体統括担当・
環境管理担当



古南 幸弘

事務局・雑木林ファンクラブ・畑プロジェクト
観察の森はお陰様で30歳になりました。人も生きものにもぎわう森を実現するため、来し方をふりかえり、未来を見すえた森づくり、仲間づくりを皆さんと一緒に考えてゆく年になりたいと思います。

環境調査担当

掛下 尚一郎

鳥のくらし発見隊・
カワセミ
ファンクラブ・
PJ-STRIX・定点カメラで動物
調査・モニ1000里地担当



皆さんからご提供いただいた調査結果のお陰で調査報告書がとても充実しています。今年もどうぞご投稿いただけると嬉しいです。

環境教育担当

尾崎理恵

ハンミョウの会・
森の絵本づくりの会・
自然と遊ぼう担当



環境教育、広報を担当します。今年度は30周年。様々な方面に観察の森をPRしていきたいと思ひます。

NEW!

環境教育副担当

黒川マリア

ハンミョウの会・
自然と遊ぼう・
畑プロジェクト担当



横浜に来て3回目の春を迎えます。観察の森を通して、より多くの人に自然に興味を持ってもらえるようにしていきたいです。

環境管理・環境教育・
環境管理補佐

藤村啓

自然と遊ぼう担当



ぼーちゃんこと藤村です。着任して1年4か月、今年は観察の森の魅力をたくさんの人に知ってもらえるように頑張りたいと思ひます。

環境管理副担当

黒川麻紀野

雑木林ファンクラブ・
野草の調査と保護担当



初めまして?4月からお世話になります黒川 麻紀野(クロカワアキノ)です。黒川マリアとは姉妹ではありません。神奈川県横浜市出身です。これから、頑張っていきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

離任あいさつ 瀧本宏昭 (3月31日で異動)

4月から北海道苫小牧市にある(公財)日本野鳥の会ウトナイ湖サンクチュアリへ異動いたしました。横浜自然観察の森には2010年から約6年間、レンジャーとして働かせていただきました。イベント対応や生物、管理についての知識など多くのことを学ばせていただき、かけがえの無い日々でした。また、友の会のみなさんと同じ時間を共有できたことを大変うれしく思ひます。機会がありましたら、ぜひウトナイ湖(苫小牧市植苗150-3)にお立ち寄りください。新千歳空港から空港バス利用で約30分の場所にあります。お待ちしております。

【参加募集】保全管理フォローアップの会

第1回 5月7日(土) 13:00~15:00 研修室に集合。

内容:桜林の植生の調査(冬の伐採の結果を確認します)

保全管理フォローアップの会は、雑木林管理ゾーン内の桜林のモニタリング、
その他の管理区の管理作業の結果の確認や、勉強会を隔月で行います。

園内の環境管理にご興味、ご意見をお持ちの方はどなたでもご参加ください。

2回め以降の予定:7月2日(土)、9月3日(土)、11月5日(土)、1月7日(土)、3月4日(土)

時間は基本的に13時から15時で行います。(日時は変更する場合があります)

◎資料の準備の都合で、ご出席いただける方は前日までに古南、黒川あきのまでご連絡ください。

今年もやります！～ゲンちゃんハイちゃんの紙芝居劇場～ サポーター募集！

◆日時：6月11日（土）、18日（土）、25日（土）（雨天の場合は翌日）

今年も「ゲンちゃん ハイちゃんの紙芝居劇場」で、ホテルの観察マナーを啓発します。つきましては、行事をサポートして下さる方を募集します。様々な役割がありますので、ご協力をお願いいたします。

■イベント時間：19:00～20:00 ■集合：17時半 自然観察センター研修室 ■解散：20時過ぎ

■お力を貸していただける方は、レンジャー黒川までご連絡ください！ E-mail: kurokawa-m@wbsj.org

【報告】

保全管理懇談会 3月12日（土）15:00～17:00

○出席者（14人） 友の会 山口博一さん、村松古明さん、藤田剛さん、佐々木美雪さん、藤田薫さん、篠原由紀子さん、上原明子さん、吉田賢一さん、片岡章さん、藤原功さん、落合道夫さん、大越哲朗さん、関根和彦さん 横浜市みどりアップ推進課 岩間隆男さん・藤田智さん レンジャー 古南幸弘・掛下尚一郎・瀧本宏昭

○内容 今年度の横浜市と委託業者さん、レンジャーの行なった草刈・伐採・工事の結果を共有し、意見交換を行いました。水鳥の池でのトウネズミモチの伐採の後処理の方法、前年度の竹林伐採の処理方法や、アキアカネの丘の浸食防止のための工事が車いす利用を妨げるといったご意見をいただき、今後の対応について検討しました。皆様のご参加どうもありがとうございました。

補修工事・伐採作業が終わりました

横浜市の委託による以下の補修工事・伐採作業は、3月31日までに終了いたしました。

【長倉口野外トイレの改修、柵の設置（コナラの道、ミズキの道、長倉口トイレ付近、生態園トイレ付近）、ミズスマシの池入口の浸食防止・段差解消、コナラの道の排水のための溝掘り、外来樹種の伐採（桜林、ミズキの道・タンポポの道ぞいのトウネズミモチ、長倉口メタセコイア等）、危険木の処理（ノギクの広場のアカマツの立枯れ等）】

これらの結果について何かお気づきの点があれば、レンジャーまでお知らせください。なお、保全管理懇談会での議論を受けて、アキアカネの丘入口の段差解消・浸食防止工事は、中止となりました。

ピクニック広場は水道施設の耐震工事のため引き続き来年1月まで使用できません。ご承知おき下さい。

特定外来生物アライグマの捕獲が終了しました

アライグマの生態系への被害をふせぐための今シーズンの捕獲をこのほど、終了しました。11月から3月までの期間でアライグマ8頭、また同じく特定外来生物のタイワンリス 30頭を捕獲しました。巡回やワナの設置などで友の会有志の方に延べ55日72名のご協力をいただきました。ハイケポタルの湿地では昨年よりアカガエルの産卵期にアライグマの痕跡を見る回数が少なかったように思います。一方でカエルの卵塊数は昨年より増えており、捕獲の効果がでていいる可能性も考えられます。来シーズンも横浜市と計画を検討しますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

ボランティア

** 2/8～4/9 **

ありがとう

3/12 理事の皆さん：利用推進会議ご出席

3/12 保全管理懇談会にご出席いただいた皆さん：園内の環境管理の振り返りと来年度計画への意見

2/8～4/9 カワセミファンクラブの皆さん 展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供

2/8～4/9 事務局内グループ「野草の調査と保護」の皆さん：開花情報のご提供

2/8～3/18 アライグマ捕獲巡回ボランティアの皆さん：アライグマ捕獲わなの巡回

行先 黒川マリア



横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

行事スケジュール 4月～6月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

- カワセミファンクラブ定例写真展
4/3(日)～6/5(日)
場所：ごろすけ館 →6ページ参照
- トンボ池を掘ろう
5/8(日) 9:10～
集合：自然観察センター前
対象：会員(中学生以上限定) →1ページ参照
- 森の作業体験(炭焼き)
5/21(土) 9:00～14:00 雨天実施
場所：横浜自然観察の森 炭小屋
対象：どなたでも(小学生以上)
申込：kansatsunomori@gmail.com まで
→7ページ参照
- 「熱中症」に関する安全管理講習
6/26(日) 10:00～12:00
場所：自然観察センター研修室
申込：kansatsunomori@gmail.com まで
→7ページ参照

●友の会 定例行事●

- 季節の森を歩こう(園内の自然案内)
～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
5/1(日)・6/5(日)
1回目 11:00～ 2回目 13:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：どなたでも
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜
- 定点カメラで動物調査 →6ページ参照
5/14(土)、6/11(土)
9:30～12:00
※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。
対象：友の会会員向け
持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参
集合：ゴロスケ館集合
活動日：5月～11月の毎月第2土曜日

●自然観察センター主催行事●

- 【森のクイズラリー】
日時：4/29(金・祝)～5/5(木・祝)
※5/2(月)は除く 受付 10:00～15:00
- 【ゲンちゃん・ハイちゃんの紙芝居劇場】
日時：6/11(土) 6/18(土) 6/25(土)
19:00～20:00
○申し込み不要 どなたでも参加可
(小学生以下は保護者同伴)
- 【親子でバードウォッチング
～初夏の森で鳥を探そう～】
日時：5/29(日)10:00～13:30
対象：6歳～中学生の親子 30名
申込：行事名、氏名(子の年齢)、電話番号、返信先を記入し FAX、E-mail、往復はがきで。
5/17〆切 担当：自然観察センター

- みんなでバードウォッチング(野鳥観察)
～のんびり楽しむバードウォッチング～
5/8(日)・6/12(日)
9:00～13:00 雨天中止
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

- 森の絵本を楽しもう
～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～
5/18(水)・6/15(水)
10:30～12:00 絵本作製
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●定例行事●

- ★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜
～友の会の活動内容紹介とルールを～
6/19(日) 9:30～14:00 雨天催行
受付：直接、自然観察センターの研修室へ
対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴
*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

- 畑と作物をつくろう
～生き物にあふれた畑を目指して～
5/21(土)、6/18(土)
10:00～12:00 雨天中止
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

- 自然と遊ぼう(園内の自然案内)
～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～
4/23(土)・5/28(土)・6/25(土)
1回目 13:00～ 2回目 14:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：子どもから大人までどなたでも
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜
(※12月のみ第2土曜)

発行日 2016年4月17日
発行 横浜自然観察の森友の会
F A X 045-894-8892
E-mail: kansatsunomori@gmail.com